

レンジフードトップシェアの富士工業は「新しいテーブルライフ」を提案しています

～8/29「焼肉の日」に先駆け、「**家庭で行う焼肉**」に関するアンケート調査を実施～

## 男性も女性もやっぱり焼肉が好き！

### “家焼肉”の魅力は「団らん」や「ヘルシーさ」 焼肉の魅力お薦め上手1位は断トツで「石塚英彦さん」

キッチン用換気扇のパイオニアとして企画・開発設計・生産・販売・アフターサービスまで、一貫した事業活動を行う住宅設備機器メーカー 富士工業株式会社（神奈川県相模原市/代表取締役 柏村桂一）は、2013年8月29日「焼肉の日」に先駆け、20代～50代の男女500人に「家庭で行う焼肉（以下、“家焼肉”）」に関連する調査を行いました。以下、その調査結果をまとめたものです。

#### 【トピックス】

■ 男性の9割、女性の8割が「焼肉が好き」と回答

■ “家焼肉”は関西で人気。関東20.5%、関西34.0%

■ “家焼肉”の魅力 男性は「団らん」女性は「ヘルシーさ」を感じている傾向に

■ 世相を反映？4人に1人が、“家焼肉”やお店で焼肉が昨年より頻度が減ったと回答

■ 半数の人がもっと“家焼肉”をしたい！

■ “家焼肉”をしない理由の大半は「油・煙・ニオイ」

■ 焼肉に関してお薦めされると美味しそうと感じてしまう有名人1位は「石塚英彦さん」

#### クーキレイ LED が“家焼肉”の悩みを解決

「cookiray(クーキレイ)」の新シリーズ LED タイプ（2013年5月30日発売）は、焼肉などの卓上調理の際に発生する煙や油を、テーブルの真上で効率よく吸い取る業界初のダイニング照明。今回の調査で、回答が多かった“家焼肉”をしない理由「テーブルや床に油が飛ぶ」「部屋にニオイがつく」「部屋に煙が充満する」の全てを解決してくれる商品です。



報道関係からの  
お問い合わせ先

PR代行 株式会社フルハウス 担当：大竹・中本

TEL03-5413-0293 FAX03-3401-8085 MAIL cookiray\_pr@mindshare.co.jp

【アンケート調査概要】

「家庭で行う焼肉」に関する調査

□調査方法：インターネット調査

□実施期間：2013年7月16日～7月21日

□調査対象：20歳～50歳代の男女/全国

□サンプル数：500名（男性284名、女性216名）

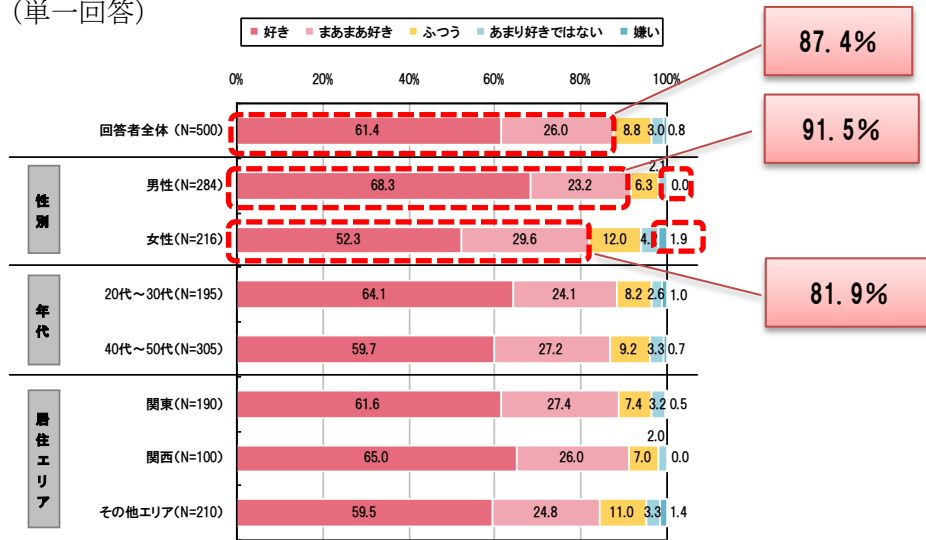
※本リリース結果をご利用いただく際は「富士工業調べ」と明記をお願いいたします

【調査結果】

■ 男性の9割、女性の8割が「焼肉が好き」と回答

焼肉に対する好嫌度を調査したところ、全体の87.4%が「好き」「まあまあ好き」と回答。男女別に見ても男性91.5%、女性81.9%が好きと回答するなど性別、各世代別でも80%以上が好きと答え老若男女、地域に関係なく焼肉は幅広い人に好かれている人気の高い食であることがわかります。また回答を得た500人の内、焼肉を「嫌い」と答えた男性は0人、女性でもわずか4人（1.9%）という結果でした。

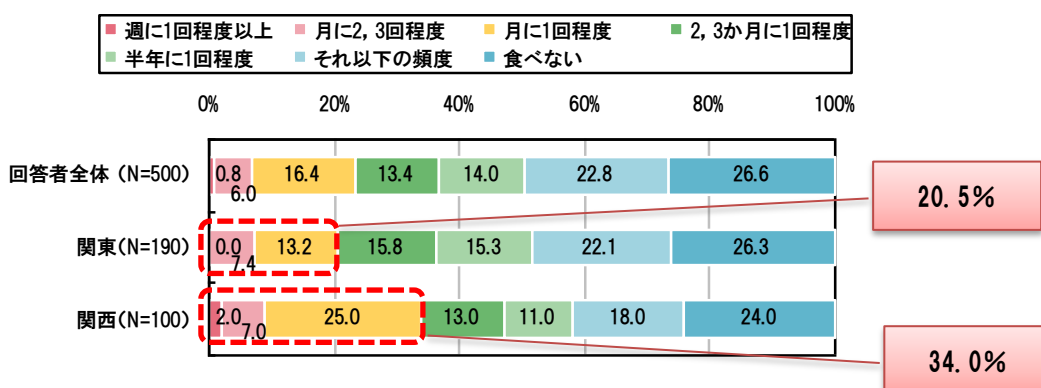
Q: 焼肉好嫌度（単一回答）



■ “家焼肉”は関西で人気。関東20.5%、関西34.0%

家庭で焼肉をする頻度を尋ねたところ、「月に1回以上実施する」と回答した関東エリア居住者が20.5%なのに対して、関西エリア居住者は34.0%が実施と回答。たこ焼きやお好み焼きなど食べる機会が多く粉もの文化が発達している関西地方は、鉄板やホットプレートを使う機会が多いことが反映された結果だと考えられます。

Q: 家庭での焼肉の頻度（単一回答）

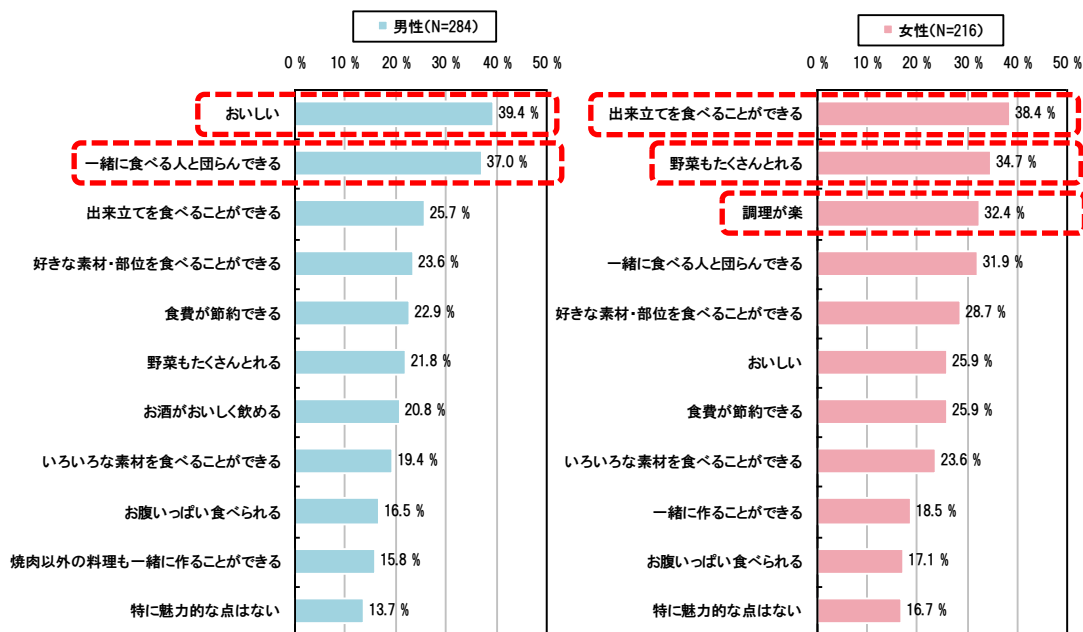


## ■ “家焼肉” の魅力 男性は「団らん」女性は「ヘルシーさ」を感じている傾向に

家庭での焼肉の魅力を探ったところ、男性と女性の考え方に違いが出ました。男性の1位が「おいしい」2位「団らんができる」なのに対して、女性の1位は「出来立てを食べることができる」2位「野菜もたくさんとれる」が選ばれました。男性の多くが“味”や“団らん”など、焼肉そのものやテーブルを囲むなどその雰囲気を楽しみにしている一方、女性の多くが“出来立て”“ヘルシーさ”“調理が楽”など他の料理と比較した焼肉のもつ優位性を魅力として感じている興味深い結果となりました。一方「食費が節約できる」はそれほど上位にはきておらず、多くの人は“家焼肉”をやることで節約につながるとはあまり考えていないようです。

Q: 家庭での焼肉の魅力（複数回答）

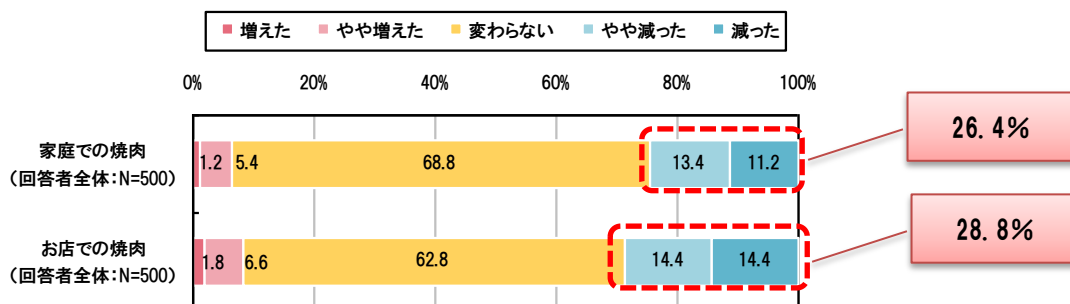
※ それぞれ、上位10項目、並びに「特に魅力的な点はない」のみ表示



## ■ 世相を反映？4人に1人が、“家焼肉”やお店で焼肉が昨年より頻度が減ったと回答

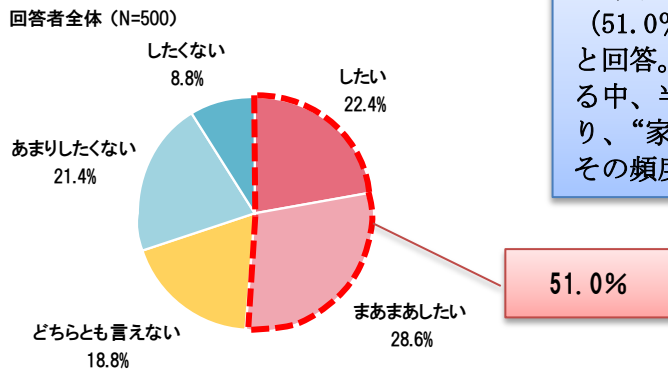
焼肉の頻度を昨年に比較してどうか尋ねたところ、家庭での焼肉の頻度に関して24.6%、お店での焼肉の頻度に関して28.8%が「減った」「やや減った」と回答。依然先行きが見えない不況の中、プチ贅沢を感じることでできる代表グルメである焼肉の回数まで影響があるようです。

Q: 昨年と比較した焼肉の頻度の変化（単一回答）



## ■半数の人がもっと“家焼肉”をしたい！

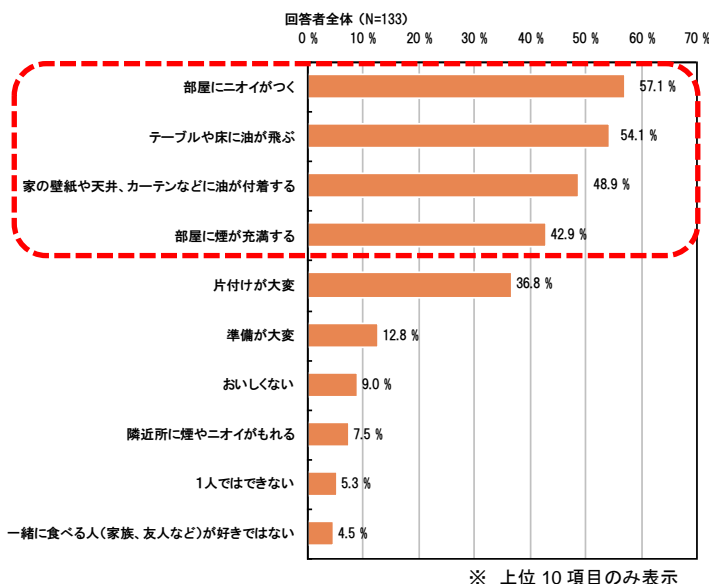
Q：家庭での焼肉の実施意向（単一回答）



“家焼肉”の実施意向を尋ねたところ半数（51.0%）の人が「したい」「まあまあしたい」と回答。焼肉に対する全体の頻度が下がっている中、半数の人は“家焼肉”をしたい意向があり、“家焼肉”が実施できない理由を探れば、その頻度が改善される可能性があります。

## ■“家焼肉”をしない理由の大半は「油・煙・ニオイ」

Q：家庭での焼肉の懸念点（複数回答）



“家焼肉”をしないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、自宅の汚れに関する懸念点が多く、“家焼肉”の実施を控えているという結果が出ました。とくに複数回答ながらも「部屋にニオイがつく」57.1%、「テーブルや床に油が飛ぶ」54.1%、「家の壁紙や天井、カーテンなどに油が付着する」48.9%、「部屋に煙が充満する」42.9%とそれぞれ約半数近くの人が「油・煙・ニオイ」が原因で“家焼肉”をしないことがわかりました。この点を改善されれば“家焼肉”をもっと楽しめる機会が増えそうです。

## ■焼肉に関してお薦めされると美味しそうと感じてしまう有名人1位は「石塚英彦さん」

Q：焼肉店や焼肉の食べ方など、お薦めされると美味しそうと感じる有名人（複数回答可）

順位	有名人	得票数
1位	石塚英彦	162票
2位	寺門ジモン	45票
3位	ギャル曽根	33票
4位	彦摩呂	32票
5位	山口智充	26票
6位	タモリ	20票
6位	香取慎吾	20票
8位	松岡修造	17票
8位	上戸彩	17票
10位	たむらけんじ	15票
10位	明石家さんま	15票

今回1位に選ばれたのはグルメレポーターやタレントとして活躍する石塚英彦さん。2位以下に100以上の差をつけ、“焼肉”の魅力伝える影響力をもつ有名人として選ばれました。

## 富士工業が提案する新しいテーブルライフ-食事を楽しむだけでなく、料理する楽しさ-

8月29日は「焼肉の日」。お店で食べる焼肉もあれば家庭で楽しむ焼肉など様々なスタイルがある中、今回富士工業は家庭での焼肉“家焼肉”に焦点をあて調査を実施しました。その理由は、“家焼肉”が富士工業が提唱する新しいテーブルライフ-食事を楽しむだけではなく、料理する楽しさ-を実現できる食、スタイルであり、「焼肉の日」はその良い機会であると考えたからです。今回調査を行い“家焼肉”をする際の問題点としてあがった「部屋の油、煙やニオイ」を解消してくれる商品として、2012年9月6日に発売した「クーキレイ」蛍光灯シリーズ、さらに今年の5月30日に発売したLEDシリーズがあります。

### ■製品概要

商品名：クーキレイ LED シリーズ

タイプ	形名	希望小売価格(税込)	発売日
DRL	C-DRL501-PRW	¥88,200	5月30日
	C-DRL501-TW		5月30日
	C-DRL501-TBK		5月30日
FUL	C-FUL501-WW	¥98,700	5月30日
	C-FUL501-WBK		5月30日



### ■ダイニング照明「クーキレイ」の特長

壁や天井を汚れにくくする唯一のダイニング照明

独自の4層フィルターで  
汚れた空気をろ過

脱臭効率<sup>※1,2</sup>  
**80%**

煙捕集効率<sup>※3</sup>  
**90%**

油捕集効率<sup>※3</sup>  
**95%**

脱臭フィルター 調理時のニオイを除去

脱煙フィルター 調理時の煙を除去  
※SEK基準「制菌加工」

脱油フィルター プレフィルターを  
通り抜けた油を吸着

プレフィルター 調理時の油を捕集

※1 脱臭効率とは、フィルターに入る前とフィルターを出た後の臭いを比べて、どのくらい臭いが低減しているかを表した割合。  
※2 焼肉調理時の脱臭効率。全ての調理に対する数値ではありません。  
※3 油捕集効率とは、捕集した煙に含まれる油に対し、どれだけフィルターで除去出来るかを表した割合。

### 【富士工業株式会社 会社概要】

称号：富士工業株式会社

代表者：代表取締役社長 柏村桂一

創立：昭和16年12月30日

所在地：神奈川県相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

事業内容：住宅設備機器の製造及び販売等

従業員数：828名（平成24年8月1日現在 グループ全体）

WEBサイト：<http://www.fjic.co.jp/>

 **富士工業株式会社**

報道関係からの  
お問い合わせ先

PR代行 株式会社フルハウス 担当：大竹・中本  
TEL03-5413-0293 FAX03-3401-8085 MAIL [cookiray\\_pr@mindshare.co.jp](mailto:cookiray_pr@mindshare.co.jp)